



「エシヤー…」と
にぎやかに披露

3月14日、御用材運付祭が村民約300人参加のもと盛大に行われました。

これは、安東文化顕彰シンボル塔として日吉神社入り口に山門を形どった山王造り京風二重鳥居を建立しようというもので、25日には赤く染められた高さ11m、幅13mの立派なジャンボ鳥居が完成しました。

なお、竣工祭は6月5日に行われる予定です。

安東の里フォトコンテスト表彰式

天内勝美さん(弘前市)が金賞に輝く

市浦村の魅力を再発見

佐々木英美さん(相内地区)入選

二月二十一日、安東の里フォトコンテスト表彰式があすなるホールで行われました。

このフォトコンテストは、市浦村の魅力を再発見しよう」と企画されたもので、対象となった作品は平成四年期間中に撮影されたしらの四季、イベント、名所、旧跡などです。県内外から二百一点の応募があり、天内勝美さん(弘前市)が金賞を受賞されました。



▶作品を見ながら講評を行った秋山庄太郎氏(左から二人目)

が贈られました。なお、入賞者は次のとおりです。

- ▽金賞 天内勝美(弘前市)「月明かりの十三」
- ▽銀賞 太田良樹(五所川原市)「初冬の放牧」太田誉(藤崎町)「朝霧の村」
- ▽銅賞 天内勝美(弘前市)「十三なぞがれ」「厳冬」長沢勝之(鎌ヶ沢町)「大沼の花火」地名「二三」(青森市)「十三」の落日

- ▽入選 米塚徳(五所川原市)「牧場の秋」葛西十三雄(板柳町)「鯉貝捕り」西村正子(札幌市)「落日」天内勝美(弘前市)「冬の十三」藤林哲夫(弘前市)「十三夕景」橋場浩次(大阪府)「神々」の道 中山時司(青森市)「遊園地」増田孝明(弘前市)「市浦の夕焼」長沢勝之「鯉ヶ沢町」(中里町)「夕暮前の沢弘志(青森市)「夕暮前のひととき」斎藤仁三郎(板柳町)「シジミ貝取り」松尾隆(青森市)「キャー!HillP」M.T.倉田儀昭(五所川原

<作品紹介>



金賞「月明かりの十三」天内勝美



銀賞「初冬の放牧」太田良樹



銀賞「朝霧の村」太田 誉

天内勝美さんに聞く

「どのようなテーマをもとに写真を撮る。」

「テーマは秋から冬と決めていたんです。この時期になるとなぜか市浦に来たくなるんです。もう四五年になります。市浦村の印象をお聞かせください。」

「ここは、絵になるところがひじょうに多い。いろんな表情の写真がとれ、私にとって



「は写真の宝庫です。一年を通しての苦勞などがありましたら?。」

「イメージにそぐわなければすぐ帰ってましたから、十月から三月にかけては一カ月に三、四回来てましたね。夜中の一時間に書いては、朝方までいましたので、そういった苦勞がわかってもらえたのがうれしいです。」

〈敬称略〉

平成4年市浦村スポーツ賞



前列左から松橋弘祐君、齊藤由香さん、相川拓見君、後列左から秋田谷和智君、梶浦武也さん、小林勇吾君、内田上が島津典明さん、下が三上順治さん。

平成4年

市浦村スポーツ賞

◆平成四年市浦村スポーツ賞表彰者
島津典明(相内、市浦村体育協会)
昭和五十八年五月から平成四年五月までの間、市浦村体育協会会長として市浦村の体育、スポーツ振興に寄与した。体育協会会長在職中の平成四年一月には、市浦村体育協会が平成三年社会優良団体として表彰された功績がある。

三上順治(脇元、八戸陸上自衛隊第三十八普通科連隊)
平成四年度の第四十七回国民体育大会山岳競技、縦走競技において優勝。陸奥湾一周駅伝競走大会で、市浦村選手として出場し市浦村スポーツ推進に寄与している。

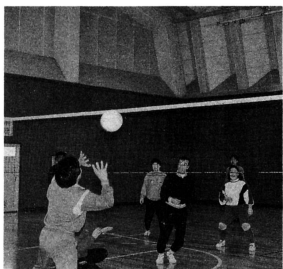
平成四年度青森県高校ソフトボール女子新人大会において優勝。
平成四年度青森県高校ソフトボール新人大会において優勝。
平成四年度青森県高校ソフトボール新人大会において優勝。
平成四年度青森県高校ソフトボール新人大会において優勝。
平成四年度青森県高校ソフトボール新人大会において優勝。

平成四年度青森県高校ソフトボール新人大会において優勝。第十一回全国高等学校ソフトボール競技選抜大会北東北予選会において優勝。
松橋弘祐(十三、三十三小六年)四年生から十三海洋クラブに所属して以来、本年に至るまで各種カヌー大会に出場し全でにおいて優勝。または上位入賞を果たした。第十三回運輸大臣杯争奪B&Gスポーツ大会全国大会小学生男子の部において優勝。

小林勇吾(相内、五所川原農林高校二年)
平成四年度青森県高校ソフトボール新人大会において優勝。第十一回全国高等学校ソフトボール競技選抜大会北東北予選会において優勝。
秋田谷和智(相内、五所川原農林高校二年)

十三第二チームが総合優勝

第二十二回冬期スポーツ大会



▲バレーボールに熱中する参加者

第九回ふれあいゲートボール大会
全日程終了

平成四年四月二十三日の春の陣、七月三十日の夏の陣、十一月十九日の秋の陣と九チームのリリーグ戦で開催されてきた第九回ふれあいゲートボール大会が、二月二十一日の冬の陣をもって平成四年度の全日程を終了しました。
大会成績は次のとおりです。

- ▼団体戦
優勝||相内第三チーム、準優勝||磯松チーム、第三位||相内第四チーム。
- ▼個人賞
最優秀選手賞||佐藤イブ、敢闘賞||秋田谷寅四郎、優秀選手賞||白川文栄、三上サキ、三上和定、青山ミエ、秋田谷文雄、三上サゲ、亀倉チサ、城谷金七、奈良滝雄。(敬称略)

三月七日、村民体育大会第二十二回冬季大会が開催されました。
競技は市浦村海洋センター(バレーホール)、村コミュニティセンター(卓球)、相内小学校体育館(バドミントン)の三会場で分散して行われ、村内から九チーム、約二百五十人が参加しました。
なお、熱戦を展開した、十三第二チームが総合優勝を飾りましたが、大会上位成績は次のとおりです。

- ▼バレーボールの部
優勝||相内第四チーム、準優勝||十三第二チーム、第三位||十三チーム。
- ▼卓球の部
優勝||相内第一チーム、準優勝||十三第一チーム、第三位||脇元第一チーム。
- ▼バドミントンの部
優勝||十三第二チーム、準優勝||十三第一チーム、第三位||相内第一チーム。
- ▼総合の部
優勝||十三第二チーム、準優勝||十三第一チーム、第三位||相内第一チーム。



▲一年間ごろうさまでした

●卒業アルバム●

卒業証書授与

3年間の思い出を胸に、卒業生一人ひとりにしっかりと卒業証書が授与されました。

広報しゅうらは市浦中卒業生を応援します



校歌

中学校生活最後の校歌を、目を輝かせながら歌っていました。



握手

「高校に行ってもがんばれよ」と卒業生の手を握りしめる鳳至幹大校長(中央)



送辞

「自分で選んだ道に突進で送りた」と送辞を述べ、高橋幸殺君。



胴上げ

卒業式には欠かせない光景。先輩より先輩へお礼の胴上げ。



別れ

「先生ありがとう」「元気だね」と声をかける卒業生。

先輩へ 野球部の後輩メッセージ入りユニホームグッズが贈られました。



感激

感激しながら、我が子の卒業をじっと見つめる父母ら。

贈



三月十七日、市浦中学校で卒業式が行われ、六十八人の仲間が巣立っていきました。

未来に向かって希望に満ちあふれる卒業生へ、広報しゅうら版卒業アルバムを贈ります。

学生会の協力により、校舎環境を向上させ、母生活提供施設、英博材資材、橋本が14日得建した校旗等が、卒業生一人ひとりに贈られました。

▲送クヒアレ
▲長、員3力庭はてま

祝 卒業

「うまく絵がかけた！」

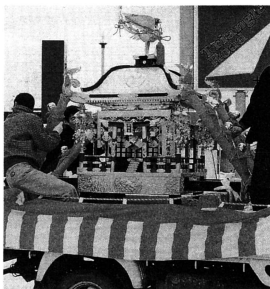
十三保育所児童が各種大会で入賞



前列左から長利女子所長心得、中井亮くん、近藤祥平くん、後列左から葛西隆子、鳴海都志子保育

二月二十五日、十三地区で

新しくなつたみこしのお披露



十三地区でお披露目されたみこし

祭りを盛り上げよう

十三の砂山祭の実行委でみこしを新調

目が行われました。

このみこしは、十三の砂山祭り実行委員会(小倉銀一委員長)が、祭りを盛り上げようと購入したもので、費用は日本宝くじ協会から住民コミュニティ事業として二百五十万円の助成を受けたほか、地区住民の寄附により、総額五百万円のみこしを新調しました。

十三地区の神明宮で新調された後、四方の大ききで、高さ一・七m、重さ二百kgの立派なみこしは、トラックに積み上げられ、十三壮年団の手によって地区内を一周、ご祝儀が飛び出すなど盛り上がりを見せました。今年の十三の砂山祭りは大変な盛り上がりになりそうです。

十三保育所では、普段から子供達に絵を書かせ、積極的に各種大会に出品してきましたが、このほど入賞者が続出し、先生や父母等をびっくりさせています。

なかでも、中井亮くん(四歳)が世界児童画展において特選(出品数二八、六四二点うち特選一、四六九点)に輝くなど、子供達の中には「将来、絵書きになりたい」という子もいるようです。

合格

おめでとぅ

梶浦美彩子さんが一級合格



梶浦美彩子さん(十三小・六年)

第九十三回全国商工会会珠算検定試験が、二月二十日午後一時から村内各小学校で開催され、梶浦美彩子さんが見事一級に合格しました。今回の受験者数は三十三名

で合格者は次のとおりです。

- ▽一級 梶浦美彩子(浦田塾)
- ▽二級 古川千穂(浦田塾)
- ▽小田桐恭子(辻分珠算塾)
- ▽三級 佐藤美月(辻分珠算塾)
- ▽四級 浜田美絵子、小山内康恵、安田なお(浦田塾)
- 神島奈々(辻分珠算塾) 岡本亜由美(坂田珠算教室)
- ▽五級 白川千草、葛西幸枝、成田仁美(辻分珠算塾)
- ▽七級 棟方伸伍(浦田塾)
- 佐藤曉希奈、村元志穂(辻分珠算塾)
- ▽八級 今野一磨、越谷翔梧(浦田塾) 白川舞(辻分珠算塾)
- ▽十級 小寺由希子(浦田塾)

なお、入賞者は次のとおりです。

- ▽世界児童画展
 - 特選 中井亮くん
 - 入選 近藤祥平くん
- 指導者賞 長利女子十三保 育所長心得
- ▼東奥児童美術展
 - 準佳作 本莊祐くん
- ▼第七回浅水水族館画展
 - 銅賞 近藤祥平くん
 - 佳作 近藤佑人くん
 - 佳作 中島千恵美ちゃん

市浦村消防団が日本消防教会 優良消防団に

市浦村消防団が二月十六日、

東京、日本消防会館において平成四年度日本消防協会優良消防団として表彰されました。

これは、消防活動及び事業に大きな貢献があったと認められたもので、笹川良一会長より表彰旗が授与されました。市浦村消防団では、十九日、役場庁舎を訪れ、三和清團長、木村昭一副団長が高松隆三村長に授与の報告を言い、「三村長に授与の報告を行い、「榮譽をけがすことのないよう尚一層努力していきたい」と決意を新たにしています。

また、これを受けた高松村長も「今後とも消防活動に対する一層の精進を重ねてくださるよう」に激励がおくられました。



市浦村長に授与の報告

アメリカ視察記 ② 地域政策を探る

市浦村長 高松隆三

地域づくりのノウハウを学ぶために訪れたセントポール市はミネソタ州の州政府が置かれている市で、人口は二十万人と青森市とや同位位であり、日本との時差もマイナスイシシッピ川沿岸に隣り合っているメタポリス市、人口三十六万八千人は、双生児のように発達してきたことから双子都市(ツイン・シティ)と呼ばれ、この両市が周辺圏域二百二十万人の中心的存在となっています。

の市はまた、長崎市と姉妹都市を結んでいるため、日本に対しては好意的で、四十五歳という若くて活動的な市長は、直接まちづくりの計画の説明にあられ、全員に自分のサイン入りの記念品まで贈るという歓迎ぶりに感銘した次第であります。

セントポール市には、ビルとビルとを結ぶ延長三十kmにもおよぶ有名なスカイウェイ(空中遊歩道)があります。冷暖房が完備され、ホテルやレストラン、デパート、駐車場、あるいはビジネス等が往來することができ、街全体がこれによって結ばれていると、ともに一つの商店街を形成している感じでもあります。天候に左右されることなく日常の用事ができるので、交通事情も激減しているとのことであり、雪国青森県でも大に参考になるのではないかと思います。

このダウンタウン評議会のトマス・ダフエー専務理事は、このスカイウェイで結んだ商業区を労働者、消費者、旅行者、居住者などすべての人達にとって活力と親しみのあるエリアにし、商業、娯楽、文化の中心地にしたいと力説していましたが、これは隣りのアール・ミント市に、デイズ・ニードランド、デイズ・ニードランドに続くアメリカ第三のテーマパーク「モール・オブ・アメリカ」が建設されたことに対する危機感の表れのようにも聞こえます。これはアメリカの人口の六十五%を占める「ピープーマ」と呼ばれ



市民主体のまちづくりを熱く語ったセントポール市長に感謝の握手をする市浦村長(右)



全長30kmの空中遊歩道

験コーナーを設ける等、消費者が納得して買物ができるようなシステムになっており、その商圏も半径六百kmと聞いて驚ろくばかりでした。アメリカは建国以来、ヨーロッパや東洋、アメリカ、インドネシアに至るまで数多くの人の種の定住と文化を認めて来た国であるだけに、いろいろな風俗や生き方や差別などが混在しているようにも思いました。「州が変わればそれは別の国と見え」と言われているように、東海岸と西海岸とは気候、風土はもちろん、服装の価値感まで違っていると、俗に言われている津軽衆と南部人との違い以上のものを感じた次第であります。

その西海岸にあるサンフランシスコは三方海に囲まれた坂道の急なまちであります。その坂道によって変化する景観は、アメリカで最も美しい街の一つに数えられ、アメリカ人が観光で訪れる街の第一位にもなっていると聞いています。この街には、トローリーバス、フェリー、パート(地下鉄)などいろいろな交通機関がありますが、私は時速十五キロのノロノロ電車で「動く国定記念建造物」と言われるケイパーカーにたまたま旅感を感じました。ここには、中国人街、韓国人街などもありましたが、やはり日本が懐しくジャパン・タウン(日本人街)を見学してきました。あまり大きくはあ



スカイウェイ計画を進めるメトロポリタン評議会トマス・ダフエー専務理事と

は男にはわからないとも言わ

りませんでしたが日本総領事館や銀行、レストランなどが集まっていた。

話は余談になりますが、驚いたことにサンフランシスコでは同性愛を戸籍上の正式な婚姻と認めていることであり



広大な屋内遊園地と400点以上の店舗数を有するモール・オブ・アメリカ

です。ホモ地区へ行くといふ自覚が手をつないで歩いていて、男同士はなんでもかき合っている。最近、アメリカ海軍でも同性愛が問題になり

ており、そういう時代であるのかもしれない。なんとなく複雑な心境です。

さて、セントポール市と双子都市の関係にあるミネアポリス市について話を戻したいと思います。ここはミネソタ州で一番大きな市で、一八五六年につくられたマチであり

、セントポール市と双子都市の関係にあるミネアポリス市について話を戻したいと思います。ここはミネソタ州で一番大きな市で、一八五六年につくられたマチであり

るのかもしれない。なんとなく複雑な心境です。さて、セントポール市と双子都市の関係にあるミネアポリス市について話を戻したいと思います。ここはミネソタ州で一番大きな市で、一八五六年につくられたマチであり



ミネソタ州知事執務室にて

いことです。(レジデント

の都道府県を廃止して「道州制」に改めるという提言を

ト十二月号、大前研一参考。OECDでは人口がわずか二十五万人と少ないのに、パリの事務所に職員を送り外国に大使を派遣して独立国家として活躍しているのに対し、それよりも人口の多い青森市や福井市などではそうした気



「もしもし」ではない。「ハローハロー」公衆電話からホテルへ

告します」(大回りは農業問題を中心に報告します)

心に関や県に頼るだけで活性化は程遠い存在であると指摘されている。(前出)JRも別分けて業績をあげている例もあり、日本を分割するとい

ト十二月号、大前研一参考。OECDでは人口がわずか二十五万人と少ないのに、パリの事務所に職員を送り外国に大使を派遣して独立国家として活躍しているのに対し、それよりも人口の多い青森市や福井市などではそうした気

ト十二月号、大前研一参考。OECDでは人口がわずか二十五万人と少ないのに、パリの事務所に職員を送り外国に大使を派遣して独立国家として活躍しているのに対し、それよりも人口の多い青森市や福井市などではそうした気



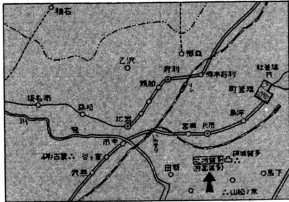
源頼義の役

源頼義の役

(4)

朝廷会議

「鬼功部合戦」で大敗北した国司藤原登任は、命からがら京都に逃げ帰ったものでしょう。また、出羽の秋田城介平重成も任国に逃げたのです。



多賀城址地図(『日本史蹟大系』所収)

この報告をうけた朝廷は、直ちに評議を開きます。重ねて国司を陸奥に派遣して、頼良を追討するための大敗北をあれやこれやと相談します。源平藤橘の名門から候補者の名が挙げられました。選ばれた者は頼良の強大なるを聞いて恐れをなし

て、あるいは病氣といつて他人に譲り、あるいは東国の案内を知らぬといつて辞退したといふことです。

当時、朝廷で権勢を振っていたのが藤原道長の嫡男頼通という人でした。頼通は関白という官職にあつては権自由に行なつていました。国司も公卿の中から選ぶようになったのですが、右のような有様でしたので、源氏の棟梁である頼義を最適任者として選びました。

源頼義という人

源頼義は、相模国(現神奈川県)の国司として領民をたいへんよく労りましたので、みな頼義に懐いたといふことです。また、弓の名人としてもその名を関東一円に馳せ、坂東の武士の大半はその配下となつていました。

この当時は、相模国司の任期を無事に終えて京都に在任し、数年間朝廷から諸国の戦乱を鎮圧する特使としての働きをしていました。この度の朝選にも応じて、陸奥の国司兼鎮守府将軍の後冷泉天皇の宣旨を拜命し、頼良の追討を命ぜられたわけです。天下にその名の聞かえていた頼義であつたら、誰ひとりとして異論を称える者はなかつたのです。

頼良の苦痛

この噂が、奥六部の衣川館にいた安倍頼良の耳にも達しないわけはありません。頼良にとつて一番心痛であつたのは、鬼功部合戦は、国司登任が勅宣も経ないうで、国司から仕掛けられた戦いでしたが、この度は後冷泉天皇の宣旨による戦いであるといふことでした。

かに、頼良が奥羽二州に勢力を張つていたとしても、敗軍になることと無勢では鬼功部合戦の大勝利の余勢を感ぜずにはいられなかつたものと思われまふ。

大赦令

一方、頼義は、源家の勢力拡張のため、奥羽の兼雄と意気込んで多賀城に入城し、軍勢を整えました。ちやうどその矢先急に、天下に大赦が公布され、安倍頼良の罪も赦されることになりました。がっかりしたのは頼義で、たいへん喜んだのは頼良でした。

頼良改名

安倍頼良は大いに喜んで自分の名を「頼時」と改めました。これは、国司源頼義と自分の名の読み方が「よりよし」と同じなために、失敗に当たるといふ意味で改めたのです。いうなれば朝廷に対して叛意のないことを示し、謹慎の意をこめたことになりました。もつと踏み込んでいへば、頼義に従属することを意味しているのです。

このような頼時の恭順によって、暗雲の棚引いた奥州の天地も再び静謐を取り戻すことになりました。そして、国民もみな文化にうらおい、平隠に暮らすようになりました。

永承六年(一〇五五)、今から九百四十二年前のこと。十三深安倍安麻(頼)氏の先祖陸奥六部の司安倍頼時の心の中に、いささか触れてみました。詳細は、「村史第二巻」(目録録筆中)でお読み下さい。

情報をお寄せください

おしらせ

役場の電話は62-2111



市浦村の人口と世帯数

平成5.3.1現在

大字名	前月人口	人	口	世帯数
相内	1,377	1,374	413	
桂川	82	82	23	
太田	298	298	94	
脇元	600	600	204	
磯松	335	337	115	
十三	830	829	257	
計	3,522	3,520	1,106	

年金コーナー

4月から保険料が変わります

第一号被保険者と任意加入被保険者が納付する国民年金の保険料の額が、平成5年4月分から1ヵ月10,500円になりました。

ただし、付加保険料の額はこれまでどおり400円のままです。

基礎年金の支払いに要する費用は、みなさんの負担する保険料、各被用者年金制度からの拠出金、国庫負担でまかなわれていますが、平均寿命の伸びとともに増えている年金受給者や物価スライドによる年金額の引き上げにより、この費用が年々増加しているための措置です。

保険料は安く、年金額は多いにこしたことはありませんが、長期的に安定した年金制度とするために、給付と負担のバランスを図りながら、みなさんの負担が急に重くならないように段階的に引き上げられています。

ご理解をお願いします。なお、詳しいことは、役場住民福祉課民生係までお気軽にどうぞ。

老人保健制度の一部負担が変わります

医療機関の窓口で支払う一部負担金が、平成5年4月から外来1月1,000円、入院1日700円になります。

	平成5年4月～平成7年3月まで	平成7年4月～
外来	1月 1,000円	消費者物価の変動率にのり一部負担金が変わります。
入院	1日 700円	

詳しいことは、役場住民福祉課国民健康保険係までお気軽にどうぞ。

平成5年度
農作業標準額表

平成5年度の農作業標準費金を下記のとおり定めましたので、計画的な作業で経営改善を!

1. 農作業日雇賃金

作 業 別	標 準 額		備 考
	1日当り、男女共		
水田	水田一般作業	4,500円	※実働8時間基準 ※附 無し
	田 植 え	4,500円	
	稲 刈り	4,500円	
畑	一般作業	4,500円	

2. 機械等賃料

作 業 別	標 準 額		備 考
	10a当り		
トラクター	田 耕 起	4,300円	1回耕起運転者付き
	荒 か き	3,800円	2回かき
	代 か き	4,000円	2回かき
	荒かき～代かき	6,000円	
	耕起～代かき	10,000円	
畑	耕 起	6,000円	2回耕起
田	植 機	5,000円	苗なし
パインダー		8,000円	糸付き
ハーベスター		6,000円	
コンバイン		15,000円	
牧草刈取		3,000円	モア一
牧草梱包	1梱包	100円	反転集草、梱包まで(テッター、レーキ、ペーラー)

県内の交通事故概況

青森県交通対策協議会

2月	累計	死者のうちシートベルト着用者	
発生 545 (601)	1,128 (1,183)		飲酒運転による死者 2
死者 8 (4)	12 (9)		高齢者による死者 4
			着用義務者 (着けなければならぬ人) 5
			非着用者 (着けていなかった人) 5
傷者 656 (727)	1,362 (1,447)	着けていれば助かったと思われる人 3	

()内は前年。累計は1月から

「関野準一郎」版画展が
開催されます

郷土あおもりが生んだ著名な芸術家の作品とのふれあいを通じて、そこに住む住民の方々に美術・芸術に対する関心と理解を引き起こし、その分野における向学心の向上、郷土あおもりに誇りをもつことを目的に「関野準一郎」版画展が開催されます。

故・関野準一郎画伯は青森市出身で日本版画界の代表的版画家として知られた方で、今回は「大相撲」「青森」「奥の細道」などのシリーズを出展します。

この機会に、郷土の生んだ芸術に足を運んでみませんか。

期間 4月16日(金)～17日(土)

場所 村コミュニティセンター(ホール)

詳しいことは、市浦村教育委員会(電話62-3751番)まで。



▶71◀

表1. もしあなたが寝たきりになったら
どうしたいと考えているか

項目	件数	%
老人ホームや病院などに入所(入院)したい	88	45.1
自宅で公的サービスを活用したい	33	16.9
わからない	32	16.4
自宅で家族などを中心に介護してほしい	28	14.4
その他	3	1.5
無回答	11	5.6

前年から、昨年の八月に実施したアンケート調査の結果を報告し、老後に関する意識についてお知らせしました。今回は寝たきりになった場合の介護希望などについて報告します。

表2. 市浦村に住んで良かった点、不便な点

良かった点		不便な点	
1位 静かである	99人 (50.8%)	1位 働く場が少ない	81人 (34.6%)
2位 人情味がありのついでに隣近所が深い	59人 (30.3%)	2位 交通の便が悪い	64人 (27.4%)
3位 なし	26人 (13.3%)	3位 病院等の施設が不足である	43人 (18.4%)

②寝たきりになった場合の介護希望について
将来、自分が寝たきりになった場合の介護希望についてみてみると、岐阜県の農村で行われた調査結果によると自宅を希望する人が約半数と多いの比べ、市浦村は施設入所を希望する人が四十五・一

表3. 老後も市浦村に住むとしたら、今の市浦村には何が必要か(複数回答)

項目	件数	%
①総合的な病院	99	50.8
②施設(老人ホーム)	82	42.1
③老人でも働ける場所	73	37.4
④保健婦、ヘルパーなど日常生活を援助してくれる人	57	29.2
⑤経済的支援(公的年金等)	49	25.1

%と最も多く、自宅と答えた人は三十一・三%でした(表1)。これは、前回お知らせした図1からも分かるように将来、老人のみの世帯になることにより、介護力が不足すると予想しての回答結果と思われます。しかし、今回の調査で老後も村に住むと答えた人は七十・四%と多く、たとえ老人

市浦村五十歳代女性の 老後に関する意識

その二

世帯になっても長年住み慣れた隣近所とのつながりが深い村に住んでいたいという愛郷心がうかがわれる結果となりました。

まとめ

市浦村の将来の推計人口では、三十二年後の二〇二五年には約半数が高齢者になることが予想されています。本格的な高齢化社会の到来に備えて、住民が今自分達にできることは何か考え、それぞれの立場で自発的な対応をとることが望まれます。

すこやかな老後を送るためには「経済的保障」「健康な心身」「生きがい」の三つが非常に重要です。これらをすべて満たすことは決してやさしいことではありませんが、個人はもろろん、家族、地域の関係者など的一致した協力的なものにひとつひとつ問題が解決され、すこやかな老後の生活を実現するようにしたいものです。



井村 健大(歳松) 信也



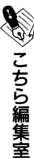
ご結婚

お誕生

- 山田 博伸(元)
- 竹谷 裕子(元)
- 佐々木 和長(元)
- 新岡 正継(歳松)
- 三上 登利(中)
- 山田 修一(三)
- 三上 瑞玉(五)
- 佐藤 忍相(内)
- 佐藤 仁(中)
- 山田 貴子(内)
- 伊東 鶴太(京)
- 白川 孝枝(京)
- 飯沼 学(三)
- 飯沼 英詮(京)
- 丸山 孝子(太)

おみやげ

古川 猛(十三) 56歳
小倉 不二男(十三) 63歳



「いやー三月は忙しかったといきなり広報が運れたこといいわけをするわけはありませんが、村民の皆さんも慌ただしく過ごされたと思います。三月は卒業、就職など新たな旅のはじまりの月でもあります。広報も四月号から年度もかわることし、新しい試みにチャレンジしたい!! と強く意気込みが果たしたい...

決意を新たにします M

二月号の「戸籍の窓」(結婚)で、木村静香(車力)が木村静子(車力)となっていました。訂正しておわびします。

- 竹谷 尚敏(歳松)
- 加藤 登三子(弘前)
- 作田 明弘(兵庫)
- 江見 千代子(相内)
- 江見 勝幸(相内)
- 志村 純子(千葉)